

卒業論文

2008

2

景観まちづくりに携わる市民活動団体の現状把握

大分大学 福祉環境工学科
建築・都市計画研究室
0456039 白水高広

【研究の背景と目的】

● 背景

1998年 **特定非営利活動促進法**
市民活動団体が幅広い活動を行う

2004年 **景観法**
景観に対する社会的関心が高まる



景観まちづくり

市民によるローカルルールの再構築や運用は極めて重要であり、市民活動団体がまちづくりに参画していくことは不可欠である。

● 目的

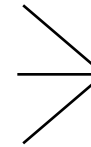
本研究では、全国の景観まちづくりに携わる市民活動団体を抽出し、現状を整理・把握することを目的とする。

【研究の方法】

データベース構築

① 団体の抽出

文献
各都道府県のNPOセンター
インターネットの情報

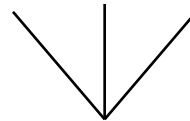


景観まちづくり団体
653団体を抽出

② 基本的な情報

組織形態
目的
活動している地域とその規模(人口密度)

※2005年の国勢調査のデータを使用



③ 考察

組織形態別
目的別
都市規模別による団体の特徴

【景観まちづくり団体の目的】 | 四つの目的に大別

- ①町並み保存・再生 : 歴史的、伝統的な町並みの保存を目的とする団体

- ②文化財保護 : 町並みではなく、単体の有形文化財や無形文化財(祭り、風習、食、伝統など)の保護を目的とする団体

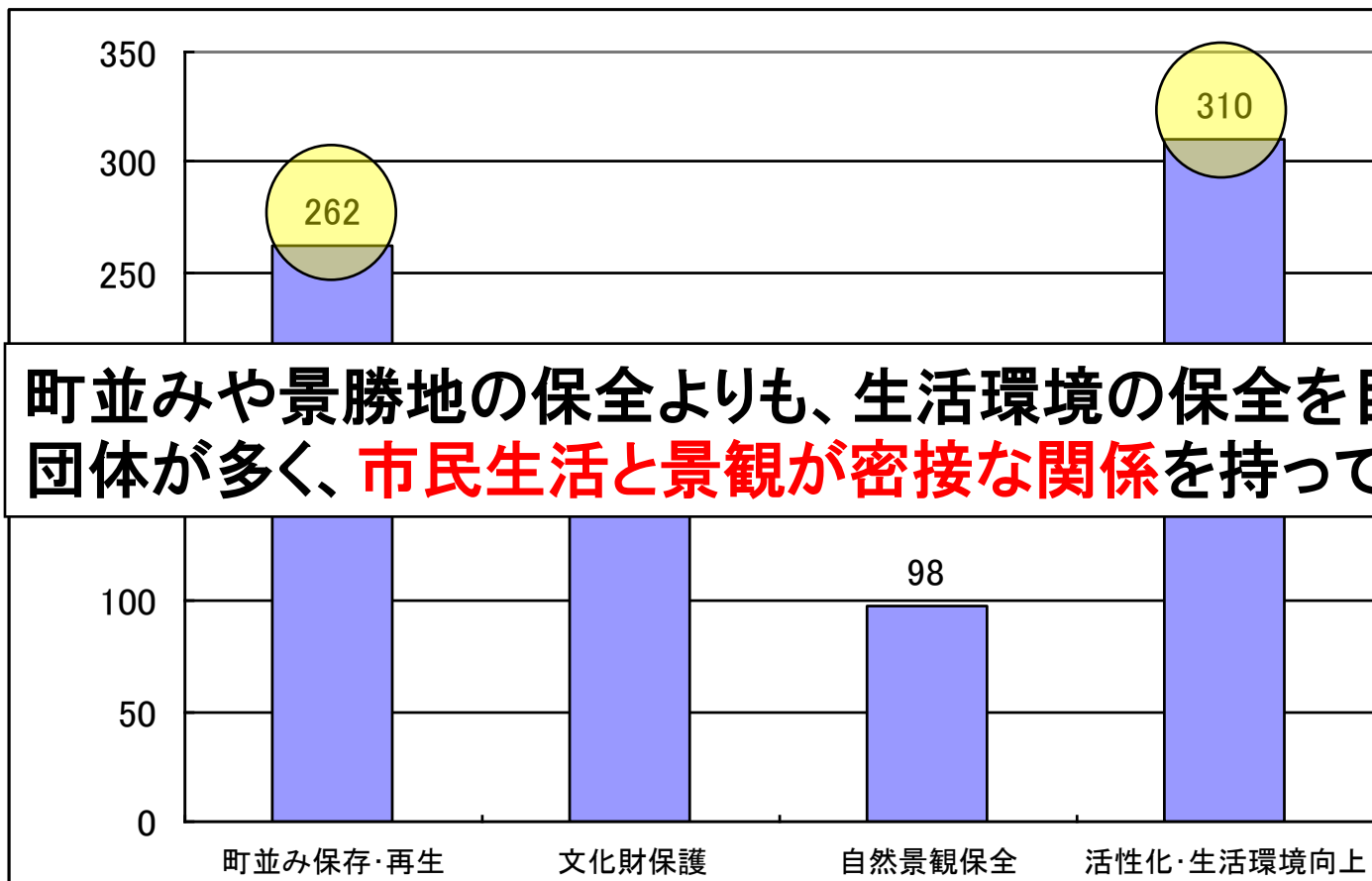
- ③自然景観保全 : 川、山、海、湿地などの自然景観保全を目的とする団体。また、農村景観もこれに含む

- ④活性化・生活環境向上 : 市民のための生活環境の保全・向上、治安維持、インフラ整備などを目的とした団体

※四つは重複して選択されることもある

【景観まちづくり団体の目的】 | 各目的の選択した団体数

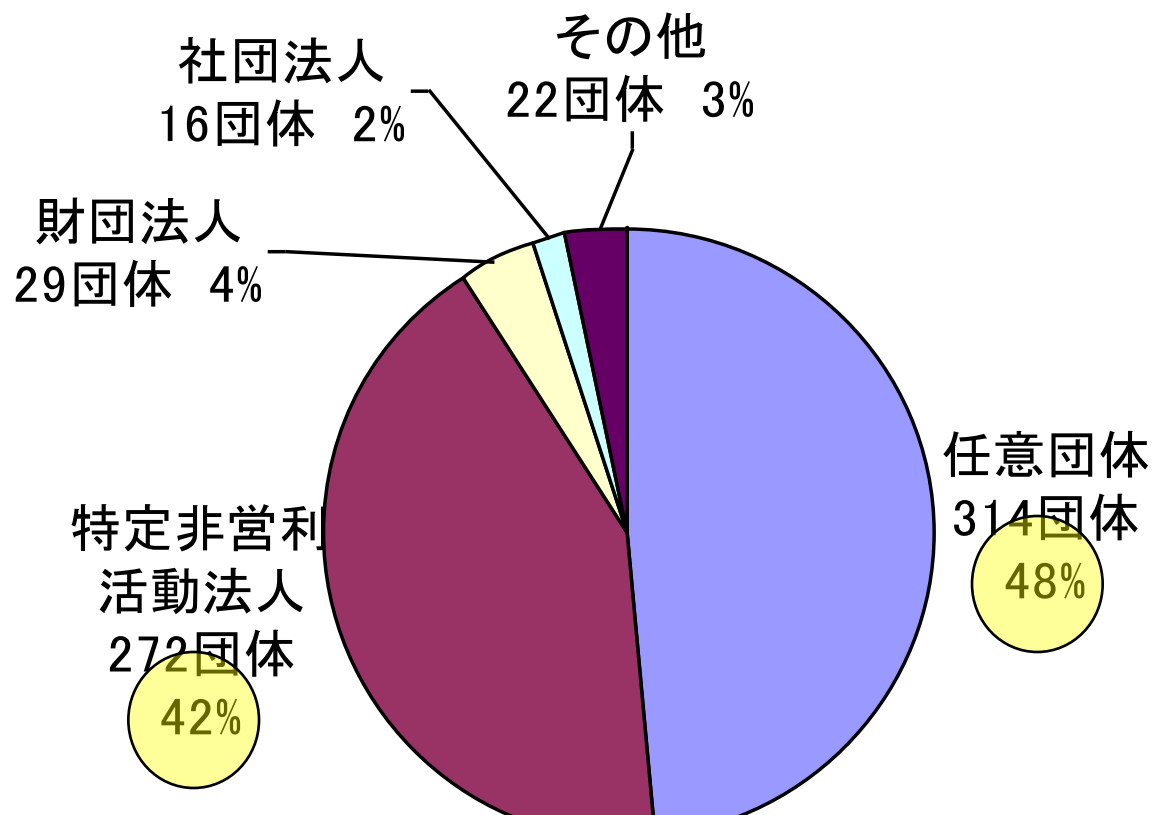
全653団体



町並みや景勝地の保全よりも、生活環境の保全を目的とする団体が多く、**市民生活と景観が密接な関係**を持っている

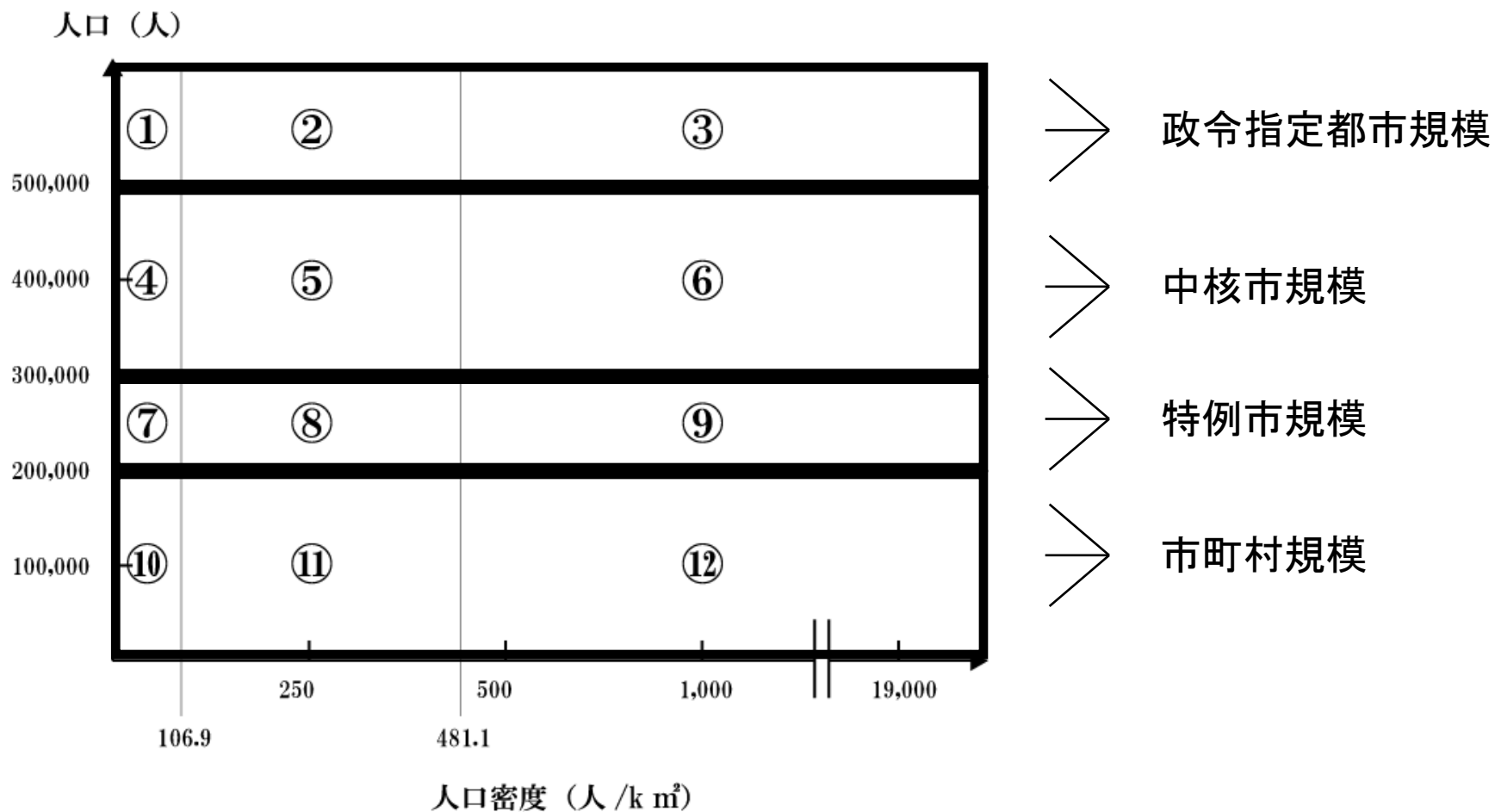
各目的の選択した団体数

【組織形態別でみる傾向】 | 組織形態別でみる団体数とその割合



特定非営利活動促進法が施行されて10年たち、特定非営利活動法人の割合が任意団体と同程度まで増えている

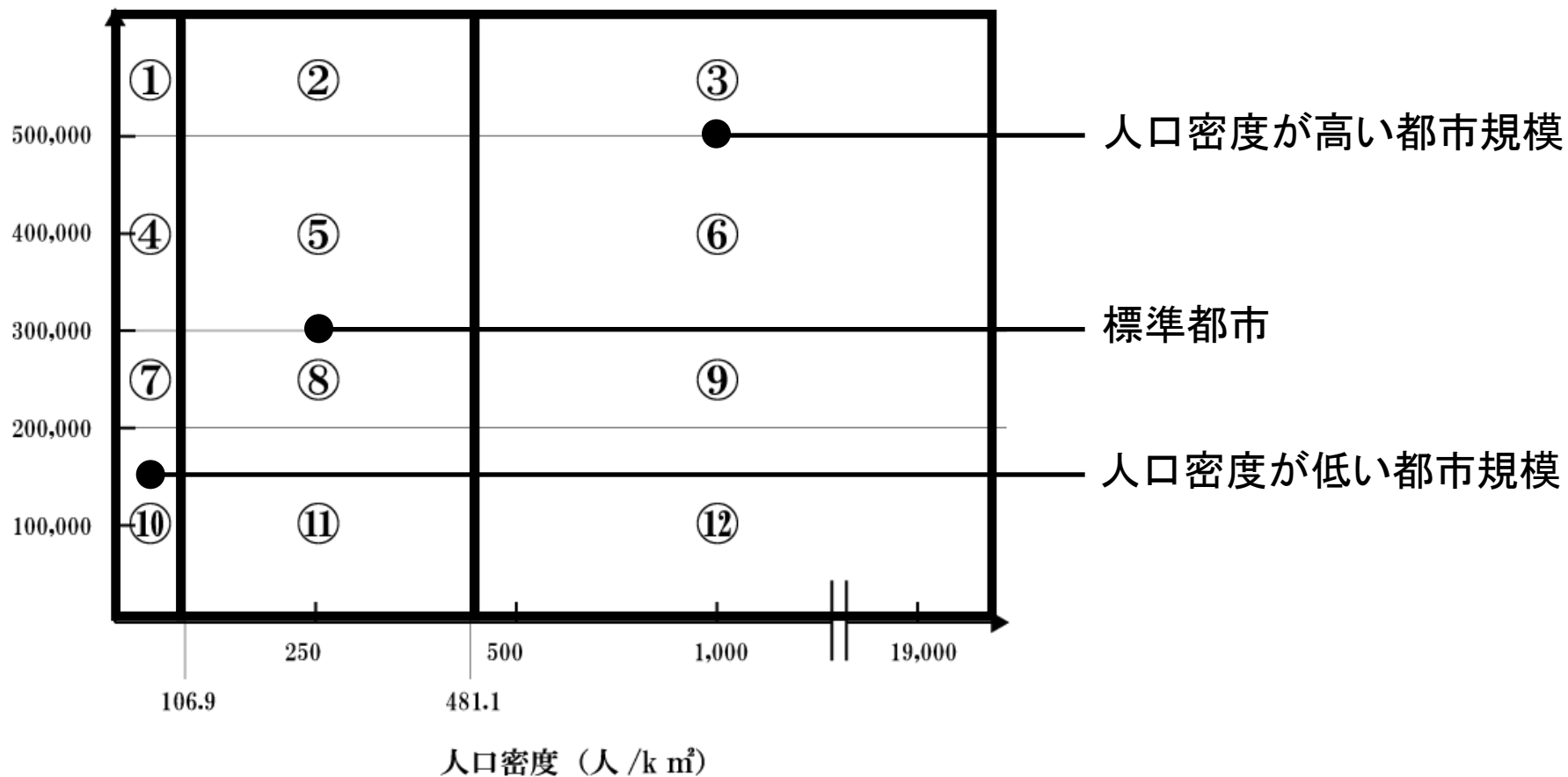
【都市規模別に見る傾向】 | 都市規模の分類方法



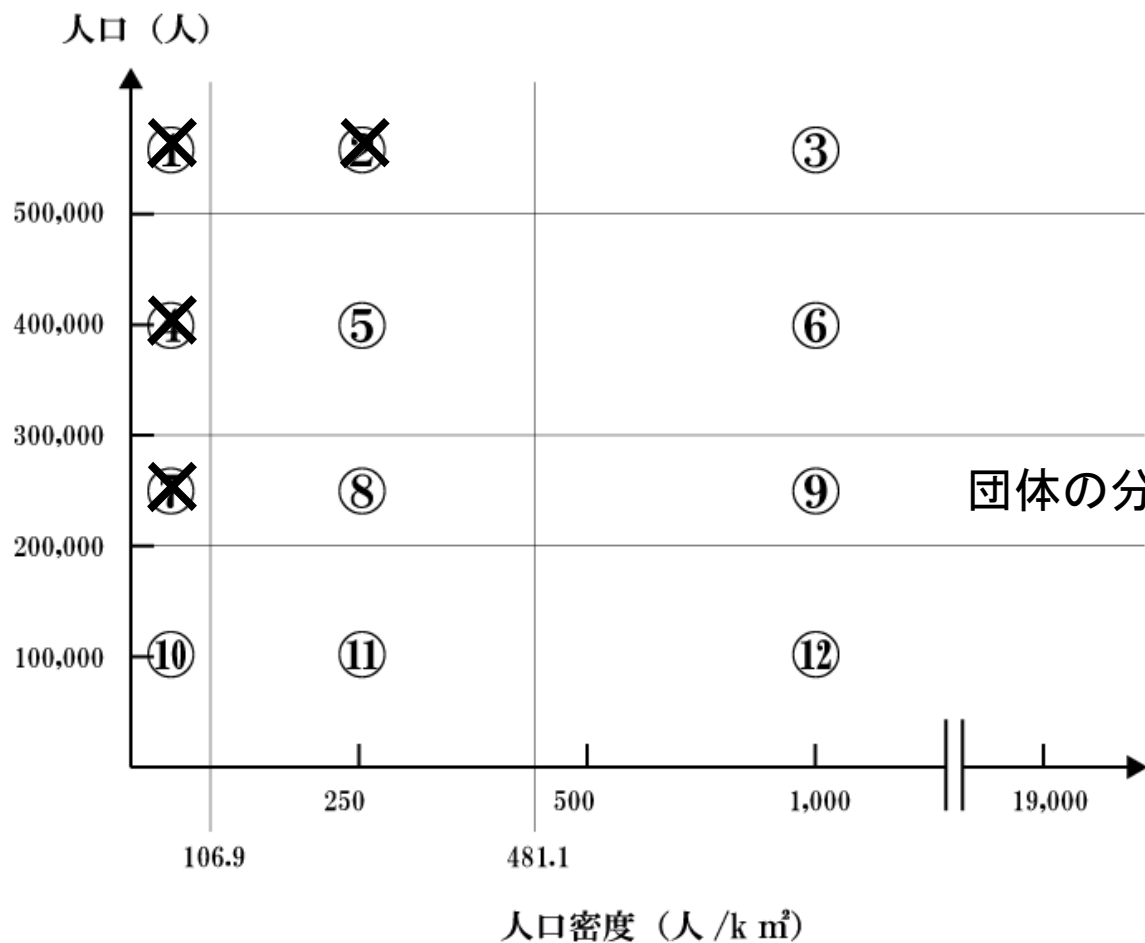
【都市規模別に見る傾向】 | 都市規模の分類方法

小笠原義勝による都市分類の方法

人口 (人)

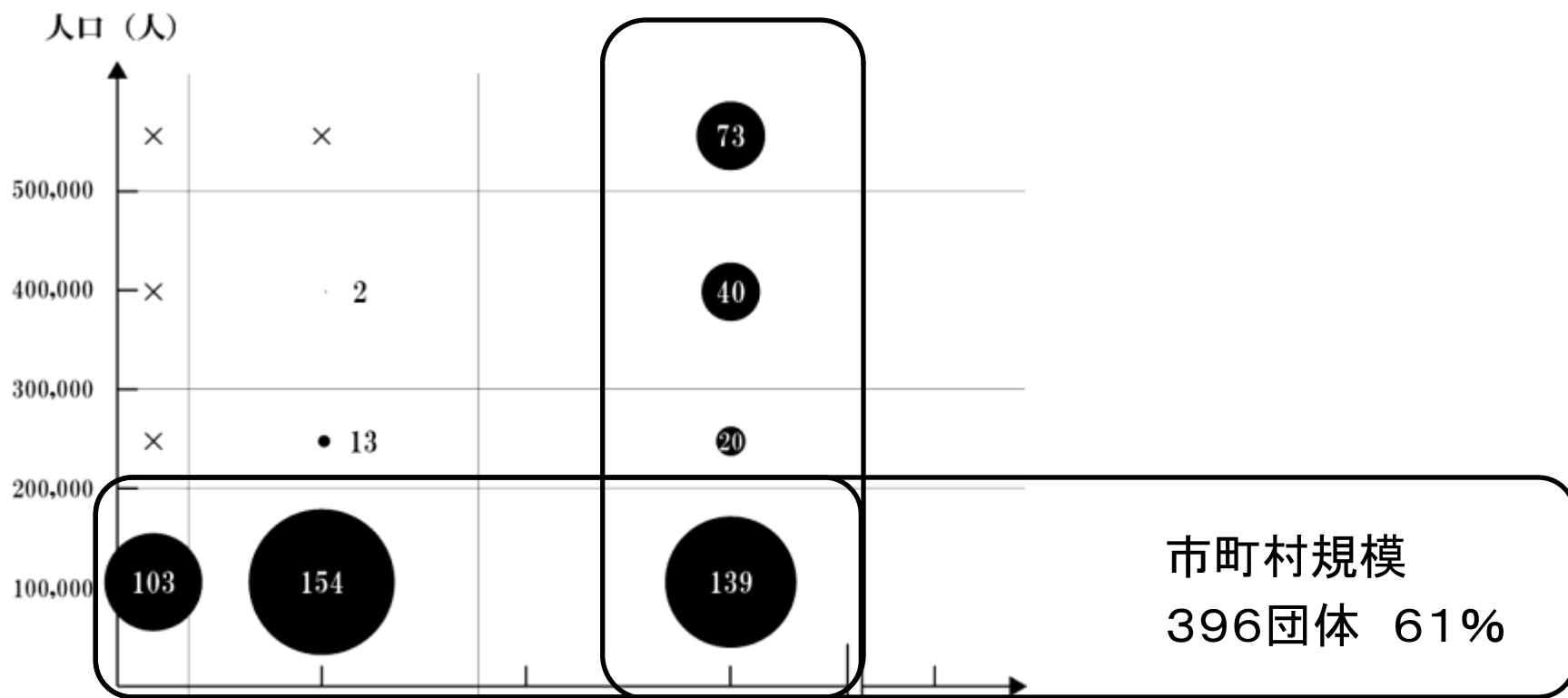


【都市規模別にみる傾向】 | 都市規模の分類方法



団体の分布が見られる都市規模は8分類

【都市規模別にみる傾向】 | 都市規模別でみる団体数の傾向



人口が小さい都市規模と、人口密度が高い都市規模に団体が集中している

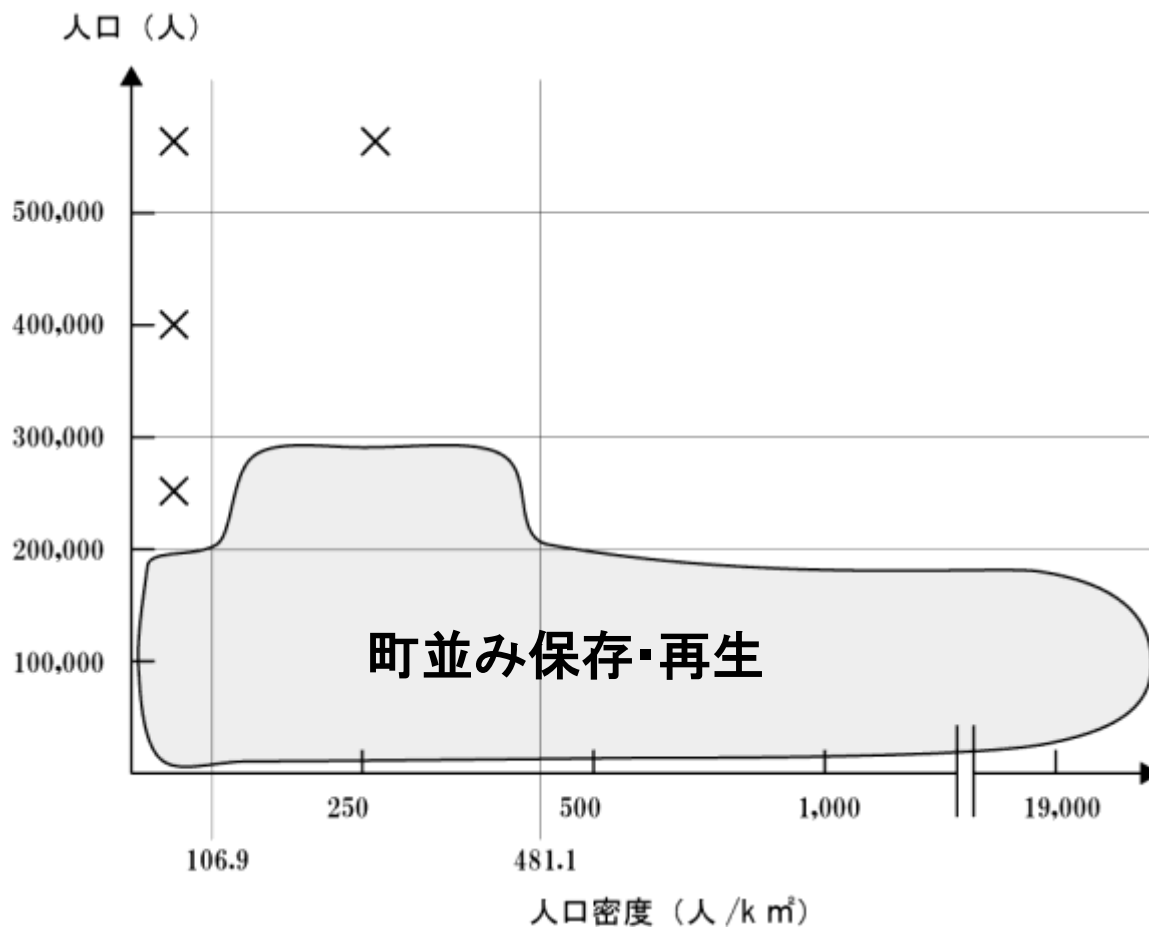
【都市規模別にみる傾向】 | 都市規模別でみる目的の傾向

選択割合が**45%以上**のものを、その都市規模の特徴的な目的として抽出

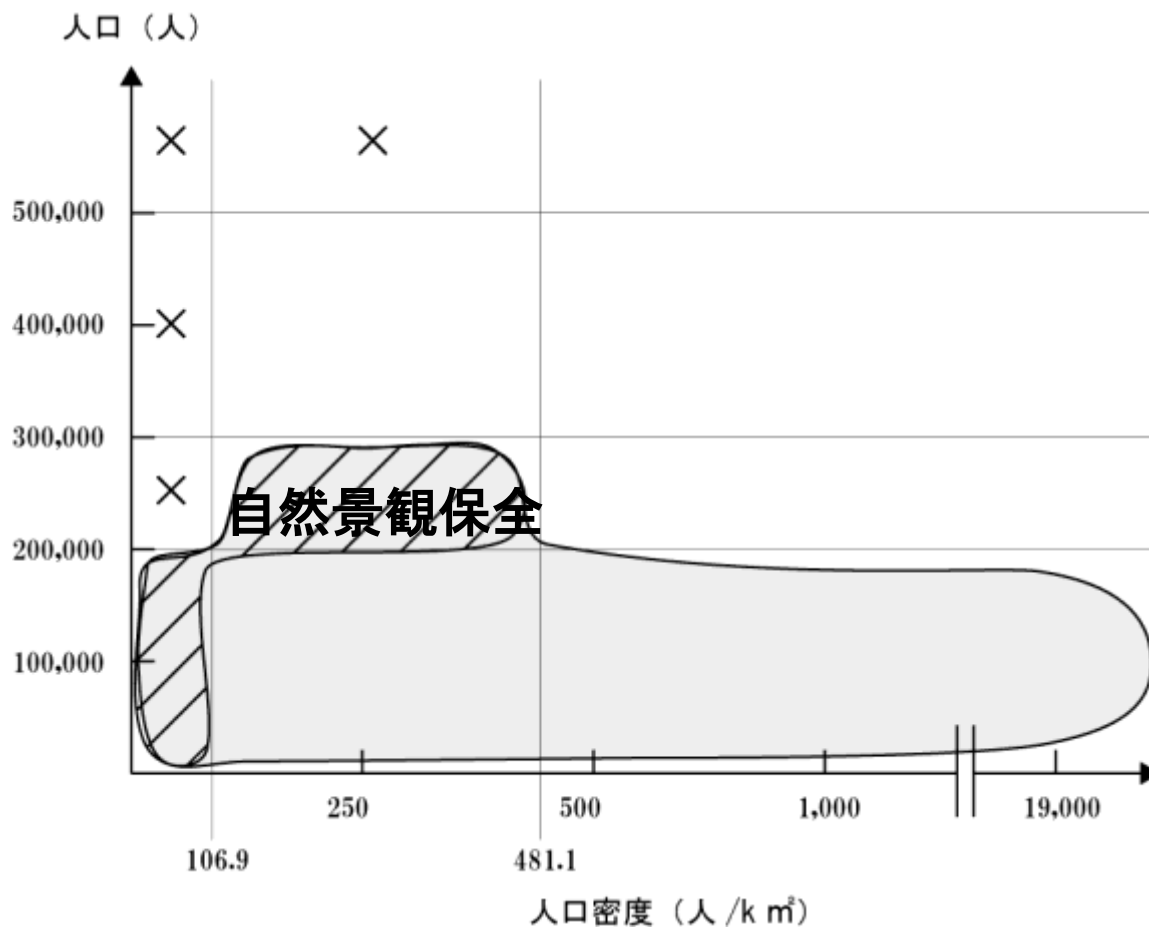
※自然景観保全についてはその目的内の割合が高い**上位2位**の都市規模を抽出

都市番号	団体数	目的			
		町並み保存・再生	文化財保護	自然景観保全	活性化・生活環境向上
①	-	-	-	-	-
②	-	-	-	-	-
③	73	20(27%)	18(25%)	6(8%)	47(64%)
④	-	-	-	-	-
⑤	2		1(50%)		1(50%)
⑥	61	22(36%)	13(21%)	4(7%)	33(54%)
⑦	-	-	-	-	-
⑧	13	8(62%)	6(46%)	3(23%)	3(23%)
⑨	31	5(16%)	5(16%)	4(13%)	20(65%)
⑩	103	49(48%)	11(11%)	28(27%)	37(36%)
⑪	154	80(52%)	37(24%)	15(10%)	63(41%)
⑫	139	68(49%)	35(25%)	23(17%)	58(42%)

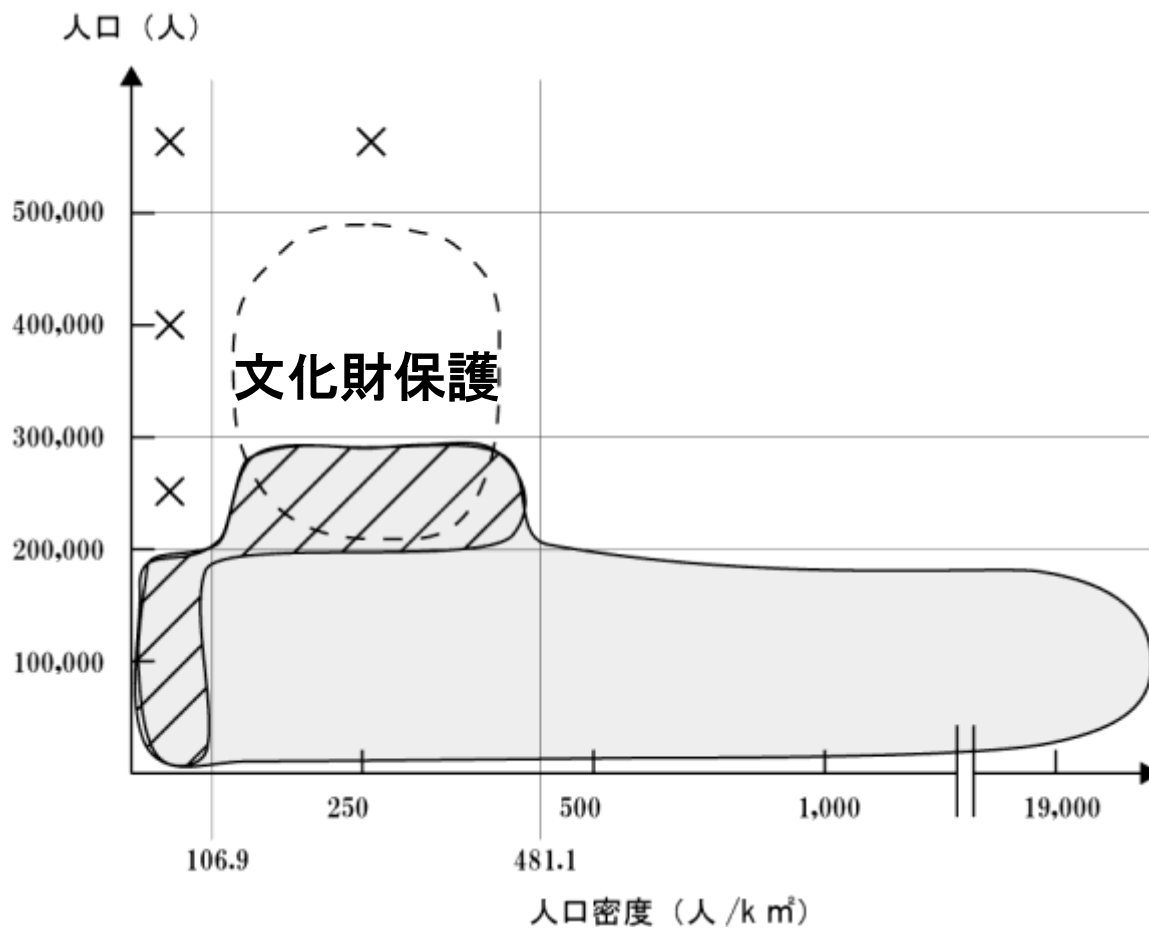
【都市規模別にみる傾向】 | 都市規模別でみる目的の傾向



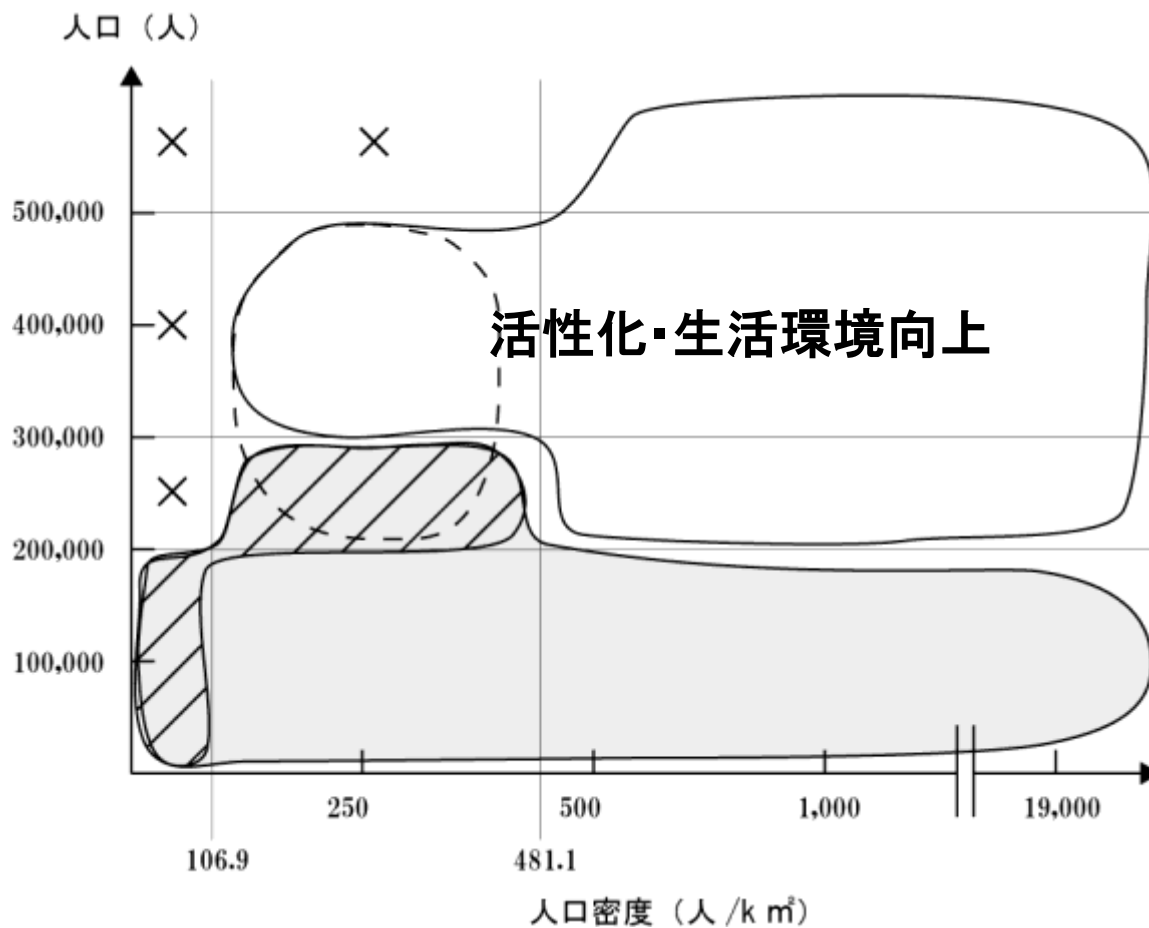
【都市規模別にみる傾向】 | 都市規模別でみる目的の傾向



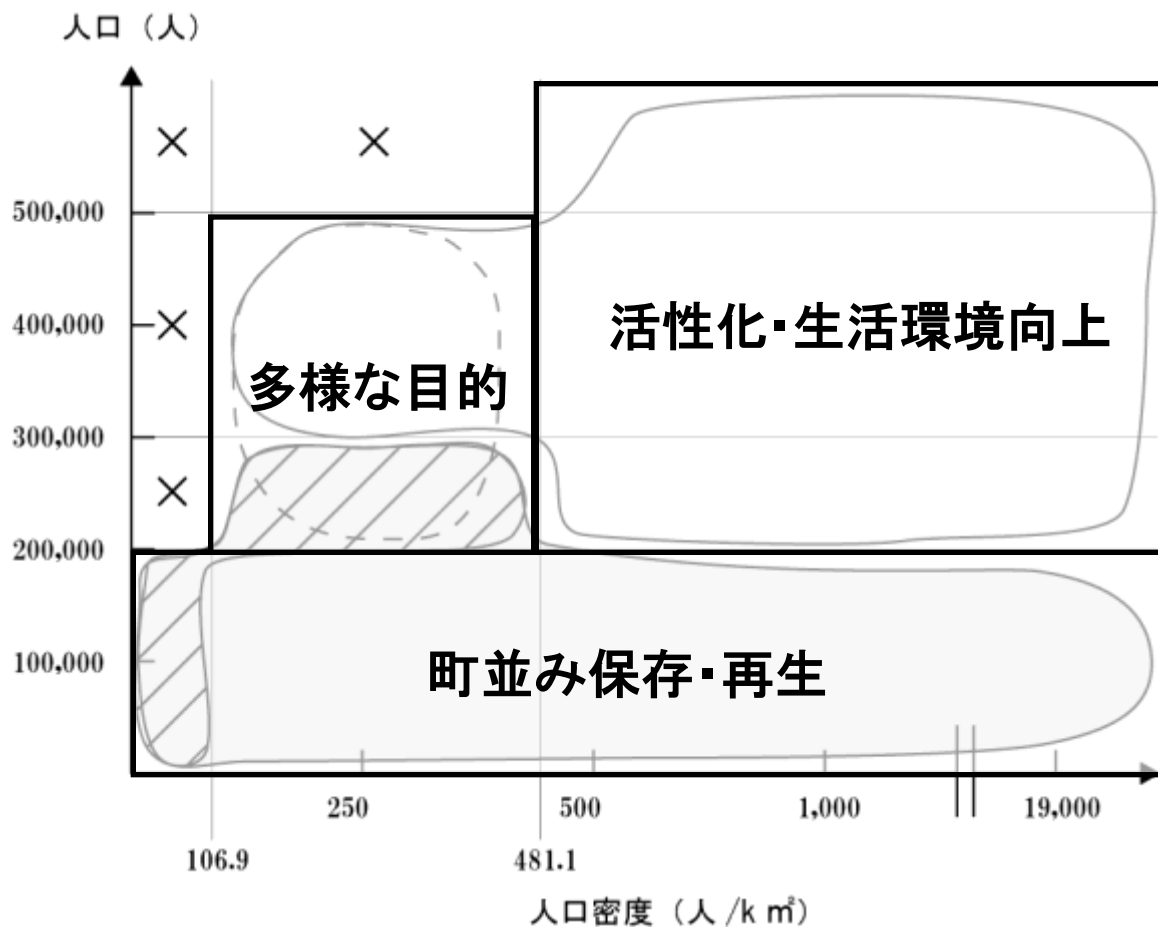
【都市規模別にみる傾向】 | 都市規模別でみる目的の傾向



【都市規模別にみる傾向】 | 都市規模別でみる目的の傾向



【都市規模別にみる傾向】 | 都市規模別でみる目的の傾向

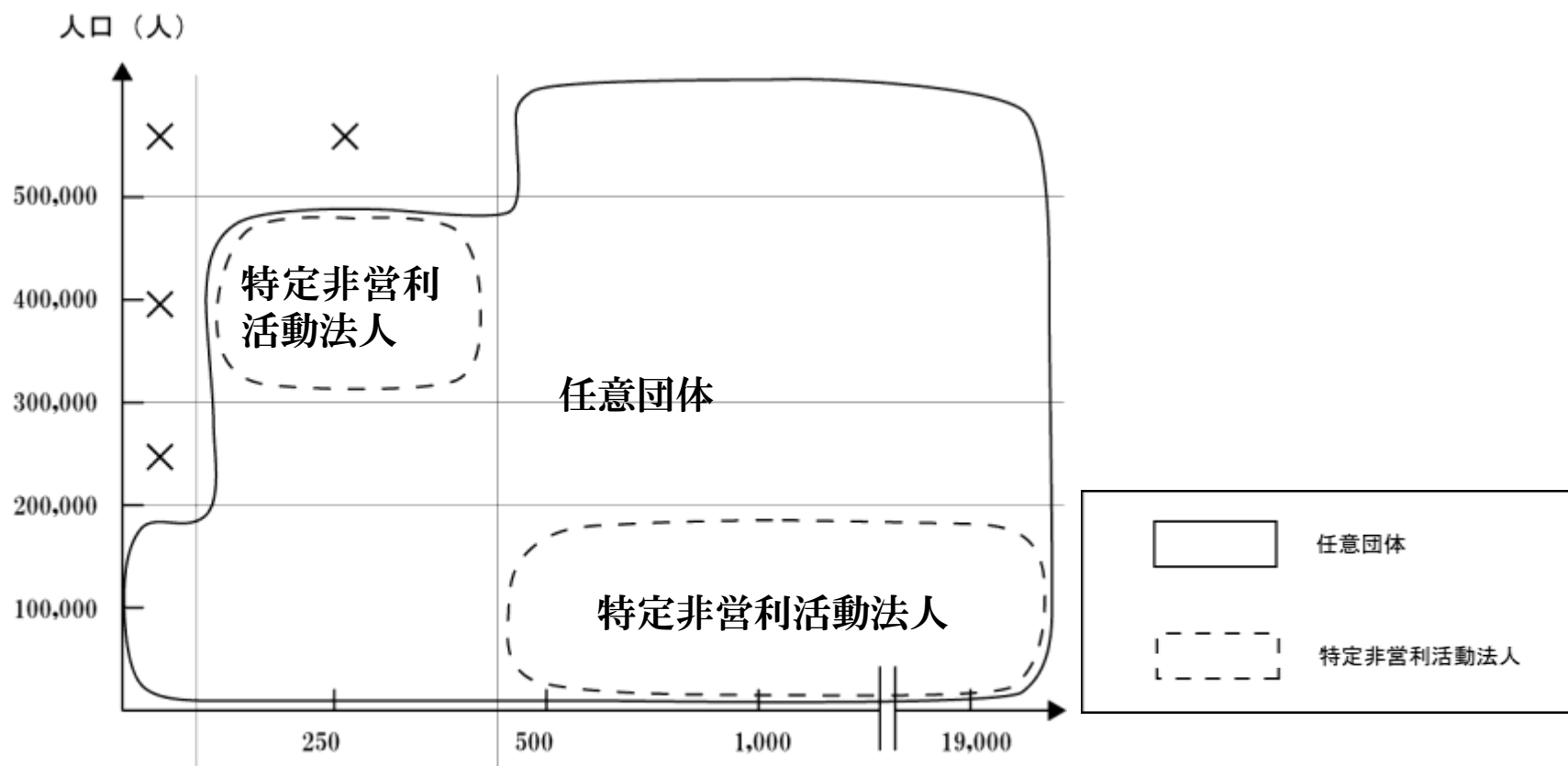


【都市規模別にみる傾向】 | 都市規模別でみる組織形態の傾向

選択割合が**45%以上**のものを、その都市規模の特徴的な組織形態として抽出

都市番号	団体数	組織形態				
		特定非営利活動法人	社団法人	財団法人	任意団体	その他
①	－	－	－	－	－	－
②	－	－	－	－	－	－
③	73	29(40%)	1(1%)	3(4%)	39(54%)	1(1%)
④	－	－	－	－	－	－
⑤	2	1(50%)	－	－	1(50%)	－
⑥	61	23(38%)	－	3(5%)	33(54%)	2(3%)
⑦	－	－	－	－	－	－
⑧	13	5(38%)	－	－	8(61%)	－
⑨	31	10(32%)	－	－	20(65%)	1(3%)
⑩	103	37(36%)	4(4%)	6(6%)	54(53%)	2(2%)
⑪	154	55(36%)	3(2%)	1(1%)	83(54%)	4(8%)
⑫	139	67(48%)	1(1%)	6(4%)	62(45%)	1(2%)

【都市規模別にみる傾向】 | 都市規模別でみる組織形態の傾向



団体が存在する全ての都市規模で、**任意団体**
人口密度が大きいか、人口がある程度大きくなると**特定非営利活動法人**

【総括】

本研究では、全国の景観まちづくりに携わる市民活動団体を抽出し、都市規模別に目的や、団体の組織形態などの傾向を明らかにした。

- ・目的別にみる傾向
- ・組織形態別にみる傾向
- ・都道府県別にみる傾向
- ・都市規模別にみる傾向

【今後の課題】

都市規模別に、特徴的な団体にヒアリング調査を行うなどして構成員・資金面などのより詳細な情報を、整理・把握することが課題であるといえる。